



# みゆき

小松市立御幸中学校

学校だより

NO. 11

令和2年9月25日

文責：校長 河南光昭

## 「みゆきの郷」へ・・・、そして「みゆきの郷」から

1年生の美術科では、1学期から家庭から持参した野菜や果物を題材に絵手紙を描く学習を行いました。右の写真はその一例ですが、描かれた絵も添えられた言葉もなかなかの味があります。プレバトでは「才能あり」に評価されるのではないのでしょうか。



それを1年生の総合学習でも取り上げて、お年寄りたちに何か心ばかりのプレゼントを添えようということになりビデオレターを制作しました。美術科と総合学習がタイアップした企画となりましたが、そんな絵手紙にビデオレターを添えて、先日「みゆきの郷」にお届けに伺いました。例年であれば、「みゆきの郷」とは運動会・文化祭のご招待をはじめとして、1年生の総合学習で慰問に伺って交流する機会が度々あるわけですが、今年はこのような状況下でそれもありませんでした。

お届けしたビデオレターは敬老の日に、入所している方全員がご覧になられたそうです。施設の方のお話によれば、画面の中の生徒と一緒にジャンケンをしたり、手を叩いたりして、実際に生徒諸君が目の前にいるかのように間近に感じて、楽しいひと時を過ごされていたとのことでした。

そして過日、施設長の松村さんが来校されて、生徒の皆さんへの御礼とメッセージの文書をお預りしました。メッセージの中には、「今回のビデオレターと皆さんのメッセージが描かれた絵を頂いたことは、この



息苦しい自粛生活を耐え忍んでいるお年寄りの皆さんへのご褒美のようにも思えました。『目の前に困って動けない人がいたらそっと手を差し伸べる』、御幸中学校の皆さんのそういう優しさが伝わってくるような心が温まるビデオレターでした。」と綴られていました。皆さんの労や心がお年寄りたちに伝わり、またそのお返しをいただきました。1年生諸君、素敵な取り組みにありがとう。